

①部内の番号	②課内の番号	③コード番号 (7ケタor4ケタ)	基本目標	2	いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	
			主要施策	5	児童福祉の充実	
9	1	2500001	施策			
			基本事務事業	001	子ども・子育て支援事業	
④事務事業名	子育て支援センター運営事業					
⑤事業箇所	美馬市地域交流センター内					
⑥計画期間	平成 30 年度 ~ 平成 34 年度					
⑦事業費 (単位:千円)	全体計画額		平成30年度	平成31年度	平成32年度以降	
	87,165		17,433	17,433	52,299	
財源内訳	国庫支出金		17,670	3,534	3,534	10,602
	県支出金		17,670	3,534	3,534	10,602
	地方債					
	その他特定財源		10,215	2,043	2,043	6,129
	一般財源		41,610	8,322	8,322	24,966
現状及び課題	⑧現状(現状分析)・課題(市民が何をもめているか) ・親子の交流の場や、荒天時の室内での遊び場確保などの要望が強い。 ・脇町地区に地域子育て支援拠点事業や子育てフリースペース事業、ファミリー・サポート・センター事業の拠点が点在している状況→地域子育て交流センターに一元化する。					
事業の概要 及び 事業の意図等 (目的・成果)	⑨対象(誰、何を対象にしているか)・意図(目的、何を狙っているのか) 子育て世帯を対象とし、「親子のふれあいの場づくり」「保護者同士の交流・情報共有の場づくり」「一時預かり事業」「各種子育て研修」などを実施することで育児を行政・地域ぐるみでサポートし、子どもを安心して産み育てることができる環境を整えることで、出生数の増加に繋げていく。					
	⑩事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順) 1. 子育て支援交流センターの整備事業を平成29年度中に実施。 2. 脇町保育所の地域子育て支援拠点事業(ひよこルーム)を廃止し、子育て支援センターに移行する。 3. 美馬市ファミリー・サポート・センター事業を脇町庁舎から子育て支援センターに移設する。 4. 美馬市観光文化資料館研修室で実施していた「子育てフリースペース事業」を廃止し、子育て支援センターに移行する。 5. 運営事業者については、(公財)徳島県勤労者福祉ネットワークに委託予定。 ※脇町保育所において、一時預かり保育事業を実施する。					
	⑪結果(どんな結果に結びつけるのか) 子育て支援事業を地域子育て支援センターに集約することにより子どもを安心して産み育てることができる環境を整えることで、出生数の増加に繋げていく。					
	⑫成果指標(目標達成度を表す指標)			⑬定量的な成果目標(数値目標)		
出生数			単位	人		
			現在値 (H30年度当初見込)	160		
			目標値	200		
課題の 処理方法	⑭事業実施までに解消しなければならない課題(どう解決するか) ①ひよこルームの廃止及び子育てフリースペース事業の廃止予告→11月 ②脇町保育所での一時預かり事業の実施体制整備→現状の人員で実施可能。 ③子育て支援員等の人材確保→運営事業者が募集し確保する。					
(参考) 他団体 の状況	吉野川子育て支援センター「ちびっこドーム」		(参考) □□ 他計画等へ の掲載状況	美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略		
(企画政策課使用欄)						

- 平成30年度 新規事業(単なる内部事務的なものは除く。)については本調査票にて作成してください。
(今回の提出がない新規事業は、翌年度の予算登録はできません。)
- 実施事業の詳細が分かる資料があれば、添付してください。

(事前) 評価								
目的 妥当性	①意図することは結果に結びつきますか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びつく	<input type="checkbox"/> 結びつかない	理由	育児をサポートし、子どもを安心して産み育てることができる環境を整える				
	②市が関与する必要がありますか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	理由	公設民営方式による運営				
目的 妥当性	③市民等からのニーズはありますか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	理由	旧ハルジーに雨天時の遊び場や子育て支援センター機能を整備するよう保護者から陳情があった。また平成28年実施の子育てに関するアンケート調査でも要望があった。				
	④緊急性はありますか。							
	<input type="checkbox"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由					
有効性	⑤成果向上余地はありませんか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	理由	事業を一元化することで利便性が高まり、子育てしやすいまちづくりに繋がる。				
	⑥類似の目的や形態を持つ事務事業は他にありますか。							
	<input type="checkbox"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない	※ある場合は、その事務事業名と事業実施主体を記入	<table border="1"> <tr> <td>事務事業名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業実施主体</td> <td></td> </tr> </table>	事務事業名		事業実施主体	
事務事業名								
事業実施主体								
効率性	⑦成果を落とさずコストを削減する新たな方法はありますか。							
	<input type="checkbox"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由	事業費については概ね人件費であるため。				
公平性	⑧受益者負担は適正ですか。(受益に偏りはありますか。)							
	<input checked="" type="checkbox"/> 適正	<input type="checkbox"/> 適正でない	理由					

※ 当該事務事業の重要度・優先度を入力してください。(AAA、AA、Aの3段階)

※ 各課等において、(事前)評価を行ってください。(①～⑧の該当する□を■に塗りつぶし、理由を入力してください。)

※ 2次評価欄は、入力しないでください。

2次評価				
(1) 1次評価結果の出来具合と客観性				
①記述説明内容		②評価の客観性		
<input type="checkbox"/> 記述は十分なされている	<input type="checkbox"/> 一部に記述不足のところがある	<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい	<input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている	<input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい			<input type="checkbox"/> 客観性を欠いた評価となっている	
(2) 2次評価者としての評価				
①目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
③効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
④公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
(3) 方向性				
<input type="checkbox"/> 実施(計画どおり)	<input type="checkbox"/> 再検討し実施	<input type="checkbox"/> 見送り(延期)	<input type="checkbox"/> 取りやめ	
(4) 所見				
企画政策課使用欄				

事務事業名	ふるさと美馬ファン倶楽部事業				部等名	市民環境部					
					課等名	移住・定住促進課					
事業期間	平成 28 年度 ～ 平成 年度		根拠法令、条例、計画等								
総合計画体系	基本目標（基本構想）		主要施策（政策）		施策		基本事業				
	活力がみなぎり、交流がうまれるまちづくり		観光の振興・交流の促進		都市間交流・定住移住の促進		-				
事業目的 美馬市から転出された方など「ゆかり」のある方々との「つながり」を持ち続け、将来のUターンにつなげる。				事業対象 ● 個人 ○ 世帯 ○ 団体 ○ 内部組織 ○ その他 市外在住者							
事業（活動）内容 ふるさと美馬ファン倶楽部会員に対し、市イベントやふるさと納税等の情報を発信する。また、新規会員の獲得を図るため、市内で開催される同窓会の開催経費補助を行う。				事業実施手法 ● 市実施 ○ 委託（一部委託） ○ 指定管理 ○ 補助金 ○ その他 成果目標（目的を達成するための度合） 3. 実施結果（DO）内の成果指標（目標数値）を成果目標とする。							
事業の実施結果											
		指標名		単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
活動指標 (実施した事業の活動量を示す指標)	①	会員数		人		125	250	375	500		
	②										
	③										
成果指標	目標	会員数		人		125	250	375	500		
	実績					638	-	-	-		
目標達成率（成果実績/成果目標）				%		5.10	-	-	-		
事業の改善状況			事業費（A）								
前年度評価の課題等を踏まえ、事業の改善等を実施しましたか。 (新規事業の場合は、空欄とする。 実施した場合は、その内容を記入すること。)			事業 内 訳 コ ス ト	事業費（A）	千円	0	1,938	3,167	0	0	
				国庫支出金	千円						
				県支出金	千円						
				地方債	千円						
				その他	千円		1,600	1,500			
				一般財源	千円		338	1,667			
				職員人数	人		0.20	0.27			
				人件費（B）	千円	0	1,123	1,516	0	0	
				5,613千円/人							
				総事業費(A+B)	千円	0	3,061	4,683	0	0	
評価項目					1次評価			理由等所見欄			
目的妥当性・必要性	①この事務事業の目的は、市の施策体系に結びつきますか。				■ 結びつく	□ 結びつかない		交流人口の増加により、地域活性化を図ることができる。また、将来的な移住につながる可能性がある。			
	②市が関与する必要がありますか。 (法令により実施することが義務づけられている場合は、「ある」とする。)				■ ある	□ ない					
有効性	③成果目標は、達成できましたか。				■ できた	□ できなかった		同窓会の開催経費補助（3,000円/会員）が想定以上の反響となり、成果目標を大きく上回った。			
	④成果の向上余地はありませんか。				□ ある	■ ない					
	⑤同じ目的を持つ類似の事務事業はありませんか。 (ある場合、理由等所見欄にその事務事業を記入すること。)				□ ある	■ ない					
効率性・公平性	⑥事業実施手法は適切ですか。				■ 適切	□ 適切でない		新規会員獲得のために行っている同窓会の開催経費補助（3,000円/会員）については、1人あたりの補助額を引き下げても、会員獲得への影響は小さいと考えられる。			
	⑦現状の成果を落とさずコストを削減する余地はありませんか。				■ ある	□ ない					
	⑧受益者負担や補助金の割合は適正ですか。 (受益者負担等がない場合は、空欄とする。)				■ 適正	□ 適正でない					
現状と課題 ○現状（H28年度実績） 会員数：638人（県内318人、県外320人） 同窓会補助件数：30件 市内宿泊施設記念特産品の贈呈：75件 ○課題 会員制度の有効な活用について検討の余地がある。				今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 民間（民営化） <input type="checkbox"/> 廃止			今後の方向性の概要 同窓会の掲載経費補助は、市外からの同窓会への出席会員1人あたり3,000円を主催者（幹事）へ補助するものであるが、美馬市への帰省に一定の交通費が必要な県外からの参加者（会員）と、美馬市と同一生活圏内にある近隣市町からの参加者（会員）を同様に扱うことは改める必要がある。（ただし、主催者（幹事）への補助であり、参加者（会員）への直接補助ではない。） そこで、県内会員の補助額を3,000円/人⇒1,000円/人に引下げる。（県外は引き続き3,000円とする。） ※「現状維持」以外を選択した場合は、記入すること。				

事務事業名	起業・創業支援事業				部等名	経済建設部					
					課等名	商工労働課					
事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度	根拠法令、条例、計画等	美馬市起業創業促進事業補助金交付要綱 美馬市移住創業促進事業補助金交付要綱								
総合計画体系	基本目標（基本構想）		主要施策（政策）		施策		基本事業				
	活力がみなぎり、交流がうまれるまちづくり		商工業の振興		商業の振興		-				
事業目的					事業対象						
市民の方が新たに市内で創業する場合、又は移住者の方が新たに市内で創業する場合、その費用の一部を助成することで、新たな需要や雇用の創出等を促すとともに、移住者の定住を促進し、市の産業の振興と活性化を図る。					● 個人 ○ 世帯 ○ 団体 ○ 内部組織 ● その他 会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）						
事業（活動）内容					事業実施手法						
起業創業促進事業補助金の場合、創業に要する経費（店舗等借入費、設備費、広報費、原材料費）の2分の1（上限50万円）を補助する。 移住創業促進事業補助金の場合、創業に要する経費（店舗等借入費、設備費、広報費、原材料費）の3分の2（上限100万円）を補助する。					○ 市実施 ○ 委託（一部委託） ○ 指定管理 ● 補助金 ○ その他						
					成果目標（目的を達成するための度合） 3. 実施結果（DO）内の成果指標（目標数値）を成果目標とする。						
事業の実施結果											
		指標名		単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度		
活動指標 (実施した事業の活動量を示す指標)	①	起業創業促進事業補助金交付件数	件	-	3	3	3	3	3		
	②	移住創業促進事業補助金交付件数	件	-	2	3	3	3	3		
	③										
成果指標	目標	市内での起業・創業件数	件	-	8	8	8	8	8		
	実績			-	6	-	-	-	-		
目標達成率（成果実績／成果目標）			%	-	75.0	-	-	-	-		
事業の改善状況		事業費（A）		千円	0	3,515	4,519	4,519	4,519	4,519	
前年度評価の課題等を踏まえ、事業の改善等を実施しましたか。 (新規事業の場合は、空欄とする。 実施した場合は、その内容を記入すること。)		事業 内 財 源 内 訳 コ ス ト	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		3,515	4,519	4,519	4,519	4,519	
<input type="checkbox"/>	実施した	<input type="checkbox"/>	実施しなかった	職員人数	人	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	
		ト	人件費（B） 5,613千円/人	千円	0	2,357	2,357	2,357	2,357	2,357	
			総事業費(A+B)	千円	0	5,872	6,876	6,876	6,876	6,876	
評価項目											
目的妥当性・必要性					1次評価		理由等所見欄				
①この事務事業の目的は、市の施策体系に結びつきますか。					■ 結びつく	<input type="checkbox"/> 結びつかない	市が関与して、起業・創業の支援を行うことで、新たな需要や雇用の創出等を促し、市の産業の振興と活性化が図れる。				
②市が関与する必要がありますか。 (法令により実施することが義務づけられている場合は、「ある」とする。)					■ ある	<input type="checkbox"/> ない					
③成果目標は、達成できましたか。					<input type="checkbox"/> できた	■ できなかった	残念ながら、移住創業を含め年間8件の目標値まで起業創業はなかったが、昨年度まで（1～2件）よりは増えている。これからはミラサボも利用して、市外に向けての情報発信を強化していく。				
④成果の向上余地はありませんか。					■ ある	<input type="checkbox"/> ない					
⑤同じ目的を持つ類似の事務事業はありませんか。 (ある場合、理由等所見欄にその事務事業を記入すること。)					<input type="checkbox"/> ある	■ ない					
⑥事業実施手法は適切ですか。					■ 適切	<input type="checkbox"/> 適切でない	1件あたりの補助金の金額を減額すれば、コストを削減できるが、あまり減額しすぎると申請をする方が今よりも減少する可能性がある。				
⑦現状の成果を落とさずコストを削減する余地はありませんか。					■ ある	<input type="checkbox"/> ない					
⑧受益者負担や補助金の割合は適正ですか。 (受益者負担等がない場合は、空欄とする。)					■ 適正	<input type="checkbox"/> 適正でない					
現状と課題				今後の方向性		今後の方向性の概要					
平成28年4月から6月末まで各補助金への募集を行い、起業創業促進事業補助金に4件、移住創業促進事業補助金に3件の申請があった。プレゼンテーションによる審査会を行い、それぞれ、3件及び2件に対して補助金の交付決定を行った。この5件とも補助金を受けて創業し、現在も営業を続けている。また、不交付決定となったうち1件は、経営相談を受け、現在、創業し営業を続けている。 しかし、1件分の移住創業促進事業補助金で、2度の再募集（9月、11月）を実施したが申請はなかった。				<input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 民間（民営化） <input type="checkbox"/> 廃止		これまで、市内で創業する方は、年間1～2件であったが、この事業を実施することによって6件に増加した。今後も、この事業を継続し、創業する方を増やすとともに、移住者の定住につなげていきたい。 また、移住創業促進事業補助金の再募集に申請がなかったことから、「市ホームページ」や「広報みま」等による募集だけでなく、ミラサボ（中小企業・小規模事業者の支援情報サイト）への登録を利用し、市外及び県外に向けての情報発信を強化していく。 ※「現状維持」以外を選択した場合は、記入すること。					

①部内の番号	②課内の番号	③コード番号 (7ケタor4ケタ)	基本目標	3	安全・安心で環境にやさしいまちづくり		
			主要施策	5	環境保全		
			施策	1	自然環境の保護		
			基本事務事業				
2	1	3501					
④事務事業名		穴吹川管理事業(社会実験・ゴミ放置対策)					
⑤事業箇所		穴吹川周辺					
⑥計画期間		平成 30 年度 ~ 平成 30 年度					
⑦事業費 (単位:千円)		全体計画額	平成30年度	平成31年度	平成32年度以降		
		460	460				
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源	120	120				
一般財源	340	340					
現状及び課題		⑧現状(現状分析)・課題(市民が何をもとめているか) 穴吹川には年間約18万人が来場しているが、それに伴い違法駐車・ゴミの置き去りが横行している。					
事業の概要 及び 事業の意図 等 (目的・成果)		⑨対象(誰、何を対象にしているか)・意図(目的、何を狙っているのか) 穴吹川を訪れる来訪者が放置する置き去りゴミの削減を行う。					
		⑩事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順) 穴吹川を訪れる来訪者に対し、穴吹ふれあい広場でゴミ袋を販売し、指定するゴミ集積場所で回収を行い、置き去りゴミの削減を行う。 平成30年度については、8月10日から20日までの10日間社会実験として事業を行い、その結果を踏まえ平成31年度以降の事業導入を検討する。					
		⑪結果(どんな結果に結びつけるのか) 置き去りゴミの削減により穴吹川の環境保全に繋がる。					
		⑫成果指標(目標達成度を表す指標)			⑬定量的な成果目標(数値目標)		
ゴミ置き去り等減			単位		台・トン		
			現在値 (H30年度当初見込)				
			目標値				
課題の 処理方法		⑭事業実施までに解消しなければならない課題(どう解決するか) 指定場所以外のゴミ対策について					
(参考) 他団体 の状況				(参考) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 他計画等へ の掲載状況			
(企画政策課使用欄)							

- 平成30年度 新規事業(単なる内部事務的なものは除く。)については本調査票にて作成してください。
(今回の提出がない新規事業は、翌年度の予算登録はできません。)
- 実施事業の詳細が分かる資料があれば、添付してください。

(事前) 評価								
目的 妥当性	①意図することは結果に結びつきますか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びつく	<input type="checkbox"/> 結びつかない	理由	環境保全、観光誘客に繋がる				
	②市が関与するの必要がありますか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	理由	今回は実験のため市主導で行うが将来は民間委託を検討				
目的 妥当性	③市民等からのニーズはありますか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	理由	穴吹川周辺住民等からの要望あり				
目的 妥当性	④緊急性はありますか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	理由					
有効性	⑤成果向上余地はありませんか。							
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	<input type="checkbox"/> ない	理由					
	⑥類似の目的や形態を持つ事務事業は他にありますか。							
有効性	<input type="checkbox"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない	※ある場合は、その事務事業名と事業実施主体を記入	<table border="1"> <tr> <td>事務事業名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業実施主体</td> <td></td> </tr> </table>	事務事業名		事業実施主体	
	事務事業名							
事業実施主体								
効率性	⑦成果を落とさずコストを削減する新たな方法はありますか。							
	<input type="checkbox"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由					
公平性	⑧受益者負担は適正ですか。(受益に偏りはありますか。)							
	<input checked="" type="checkbox"/> 適正	<input type="checkbox"/> 適正でない	理由					

※ 当該事務事業の重要度・優先度を入力してください。(AAA、AA、Aの3段階)

※ 各課等において、(事前)評価を行ってください。(①～⑧の該当する□を■に塗りつぶし、理由を入力してください。)

※ 2次評価欄は、入力しないでください。

2次評価				
(1) 1次評価結果の出来具合と客観性				
①記述説明内容		②評価の客観性		
<input type="checkbox"/> 記述は十分なされている	<input type="checkbox"/> 一部に記述不足のところがある	<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい	<input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている	<input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい			<input type="checkbox"/> 客観性を欠いた評価となっている	
(2) 2次評価者としての評価				
①目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
③効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
④公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	理由	
(3) 方向性				
<input type="checkbox"/> 実施 (計画どおり)	<input type="checkbox"/> 再検討し実施	<input type="checkbox"/> 見送り (延期)	<input type="checkbox"/> 取りやめ	
(4) 所見				
企画政策課使用欄				